

☆ねらい

説明したいものの特徴をマッピングすることで明確にし、それらを重要な情報として語句や文で表現することによって、より相手に内容をわかりやすく伝える文章をつくることができる。

☆扱う場面

2, 3年時において、Readingの単元の最後に、読み取った文章に関連する自己表現活動として扱う。

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 説明文を聞いて、前時の復習をする。	・教科書の本文をCDで聞かせ、前時の活動を振り返らせる。
② 郷土料理の紹介文をつくる。	<p>めあて マコール先生に大分の郷土料理を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に、学級を担当する郷土料理ごとのグループに分けておく。 ＊4種類の郷土料理 (とり天、だんご汁、やせうま、地獄蒸し) <p>課題 マコール先生が「食べたい」と思う紹介文にするために、どんなことを伝えたらよいだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの料理について、どんなことを書くのか、日本語でマッピングし、考えさせる。 ・マップを使い、郷土料理を最もわかりやすく説明する1文を書かせる。
③ グループで英文を交流し、それぞれの郷土料理を紹介する文章を完成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の英文をグループ内で発表させ、交流させる。 ・グループでそれぞれの郷土料理を紹介する文章を、ワークシートに完成させる。
④ 全体にそれぞれの郷土料理の紹介する。	・発表者の紹介を聴き、メモをとらせる。
⑤ 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表した英文を提示し、その意味を確認させる。 ・相手に、内容や意思を伝えるときのポイントを押さえる。 <p>まとめ 相手に伝わる紹介文にするためには…</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 重要な情報を語句や文で表す。 ＊特徴：味、色彩、香り、価格… ②相手にすすめる表現を入れるとよい。